

Syllabus Id	Syl. -092525
Subject Id	Sub. -092007000
更新履歴	20090312 新規
授業科目名	英語（選択：英語） English
担当教員名	藤井 数馬（Fujii, Kazuma）
対象クラス	全学科5年生
単位数	2履修単位
必修/選択	選択
開講時期	通年（H.21）
授業区分	語学
授業形態	講義、演習
実施場所	選択制教室3

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際社会のツールとして重要となっていることを鑑み、日本の技術者に求められる実用英語能力の習得を目指す。英語の受容能力だけでなく、音読や英作文を通して発信能力を養成する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校英語の基礎的理解力（英検準2級～2級程度）

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D 英語による実践的なコミュニケーション能力を養成する。			
学習・教育目標の達成度検査	1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。		

授業目標

- 受講者全員が最低英検準2級程度の英文を理解でき、聞き取れるようになる。
- ペアワークやグループワークを通して、積極的に英語でコミュニケーションをとる姿勢を身につけ、自ら自分の言いたいことの大部分を、基礎的な英語を使って発信できるようになる。

授業計画（プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	前期オリエンテーション	講義、試験の説明 Unit 1 Lesson 1 Are You Good-looking?	
第2回	Unit 1 Lesson 2	The Beauty Myth	
第3回	Unit 2 Lesson 1	The History of Comics	
第4回	Unit 2 Lesson 2	The New Comic Book	
第5回	Unit 3 Lesson 1	What's a Hero?	
第6回	Unit 3 Lesson 2	Asian Heroes	
第7回	前期中間試験		×
第8回	試験返却、講義	Unit 4 Lesson 1 Charlie Chaplin	
第9回	Unit 4 Lesson 2	Special Effects	
第10回	Unit 5 Lesson 1	Buy What You Don't Need?	
第11回	Unit 5 Lesson 2	Senseless Consumption	
第12回	Unit 6 Lesson 1	What is a Dessert?	
第13回	Unit 6 Lesson 2	Desserts Around the World	
第14回	Unit 7 Lesson 1	Asian Kids Taking Challenges	
第15回	前期末試験		×

第 16 回	後期オリエンテーション	試験返却、Unit 7 Lesson 2 What's left to Do?	
第 17 回	Unit 8 Lesson 1	Organized Noise	
第 18 回	Unit 8 Lesson 2	Write a Song!	
第 19 回	Unit 9 Lesson 1	Equality Now!	
第 20 回	Unit 9 Lesson 2	The Superwoman Myth	
第 21 回	Unit 10 Lesson 1	Pushing Physical Limits	
第 22 回	後期中間試験		×
第 23 回	試験返却、講義	Unit 10 Lesson 2 Ironing Shirts on Everest	
第 24 回	Unit 11 Lesson 1	Jungle Drums to Telephones	
第 25 回	Unit 11 Lesson 2	The Future of Communication	
第 26 回	Unit 12 Lesson 1	What Do People Want?	
第 27 回	Unit 12 Lesson 2	The Worst First Fate Ever!	
第 28 回	予備日		
第 29 回	予備日		
第 30 回	後期末試験		×
課題			
授業中に指示をする			
評価方法と基準			
評価方法			
テストは原則として、使用テキストの既習事項について、その定着度をはかるかたちで授業担当者が作成する。評価については、定期試験の成績をもとに、出席や授業中の姿勢、学習意欲、提出物、ノートチェックなど総合して出す。			
評価基準			
定期試験による評定 75~80% 授業態度、出席、学習意欲、提出物等の平常点 15~20%、学習到達達成度自己評価 - 若干。			
教科書等	『Read and Think! 1』 Ken Beatty 著 (Longman) 英和辞典、和英辞典は必ず授業で持参すること。		
先修科目	総合英語 A, B 英語 W 英語 C		
関連サイトのURL	http://cocet.nime.ac.jp/ https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/onet2/		
授業アンケートへの対応	見やすい板書、授業の目的の明確化を心がける。状況（学習意欲、理解度、テキストの難易度等）に応じ進度は適時変更する。		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		